



発行

練馬西青色申告会

西馬ねり

青色だより

〒178-0063 東京都練馬区東大泉4-16-3 電話 5387-6211 FAX 5387-6222

平成二四年度会勢拡大出陣式・ 役員研修会が開催されました。

平成24年10月9日(月)～10(火)にかけて会勢拡大出陣式・役員研修会が箱根で開催され、役員合わせて57名の参加がありました。お忙しいなかご参加いただきました役員の皆様ありがとうございました。

高橋事務局長の司会進行で梶野副会長の開会の挨拶から始まり、会歌斉唱、青木会長による挨拶が終わり、第一部「役員研修会」が始まりました。

役員研修会の内容は、最初に関口職員が、所得税の改正事項として平成24年分から始まる生命保険料控除について説明しました。

次は、税理士の小林隆先生から「税務調査での注意事項について」と題して、実際に調査の連絡があった場面を想定して劇場形式で行い会場は盛り上がりしました。

第二部「会勢拡大出陣式」では山路支部長の「青色コーナーでの入会勧奨について」と題し、チーム青色のメンバーとして自らの青色



関口職員



鈴木副会長



梶野副会長



高橋事務局長

式・役員研修会



青木会長



山路支部長



小林隆先生

式・役員研修会

今回の会勢拡大出陣式・役員研修会は実用的な研修あり、笑いありで充実した研修会でした。

がりました。最後はさよしのズンドコ節の歌に合わせた踊りで懇親会の幕が閉じられました。

みなで盛り上げての民謡やカラオケを披露して、

た後は、小林先生も参加された懇親会が行われました。懇親会では、三味線に合わせたの民謡やカラ

研修が終わった後は、小林先生も参加された懇親会が行われました。懇親会では、三味線に合わせたの民謡やカラ

丸となつて取り組みましょう。

この三つの約束を肝に命じ役員丸となつて取り組みましょう。

力強い言葉でした。

①「考えない」ではなく「目標をつくる」

②「動かない」ではなく「行動する」

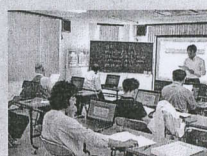
③「こたえない」ではなく「最後まであきらめない」

最後に、青木会長から「会勢拡大の取組み」について、会員の増強の意気込みの三つの約束事を話されました。

「組織の活性には動が必要」「考えない」ではなく「目標をつくる」

◆「ブルーリターンA」講習会

去る10月4日・5日の2日間、練馬西青色申告会事務所にパソコン用会計ソフト「ブルーリターンA」の講習会を開催いたしました。



「ブルーリターンA」講習会

内容は複式簿記のテキストで複式簿記の仕組みを理解した上で、会計ソフトの入力を体験していただくというものです。2日とも同じ内容でしたが、計10名の方に参加いただきました。

会計ソフトを使う上、複式簿記の知識は必要不可欠です。会計ソフトには様々な入力方法がありますが、どの入力方法でも複式簿記の帳簿が出来上がります。そのため講習では最初に「簿記上の取引」「勘定科目」「仕訳」といった専門用語を覚えていただく。複式簿記の最も大切なルールである仕訳の仕方を理解した上で日々の取引の練習問題をブルーリターンAで入力していただきました。

入力は主に振替伝票入力で行いました。振替伝票入力とは、複式簿記を手書きで行うときに作成する振替伝票と同じ形式で入力するやり方です。複式簿記に慣れるのに適した入力方法ですのでこれを覚えていただいた上での入力方法も体験していただきました。

ご参加いただいた皆さんには大変熱心に受講いただいた。会計ソフトは最初が肝心ですので、初めてお使いになる方は個別の指導も行いますので何度か事務局に足を運んでいただければと思います。

12月には既にブルーリターンAをお使いの方を対象に決算整理の講習会を予定しております。ブルーリター

◆複式簿記講習会

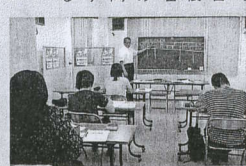
平成24年度において、複式簿記講習会が第1回目は月曜クラスとして、20日(月)、27日(月)・9月4日(火)の3回コース、第2回は火曜クラスとして、9月4日(火)・11日(火)・18日(火)の3回コース、第3回は水曜クラスとして、10月3日(水)・10日(水)・17日(水)の3回コースの3日に渡って開催しました。

講習会の内容は簡単な教材を使用した仕訳から試算表の作成までを小売業と不動産賃貸業の教材に分けて午前と午後に行いました。青色申告特別控除65万円が受けられる要件の一つが複式簿記による記帳であるため、参加者は真剣にまなざし講習を受けており、前回に引き続き好評でした。

なお、12月10日(月)・11日(火)・12日(水)には複式簿記の決算編講座・棚卸資産の整理・減価償却費の計算・経費の家事控分の計算など、説明時間は3時間1回で完了する内容を中心とした複式簿記講習会を予定しております。是非ともご参加下さい。

特に会計ソフトでは、記帳されている方は手書きによる複式簿記の記帳や決算手続きの内容が理解できれば会計ソフトの入力もより正確に短時間でできるようになりますので必ずご参加くださるようお願いします。

(事務局 関口)



「複式簿記」講習会

平成26年1月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

事業所得等を有する白色申告の方に対する現行の記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から対象となる方が拡大されます。

※ 現行の記帳・帳簿等の保存制度の対象者は、白色申告の方のうち前々年分あるいは前年分の事業所得等の金額の合計額が300万円を超える方です。

① 対象となる方

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う方です。

※ 所得税の申告の必要がない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

② 記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れやその他の必要経費に関する事項を記載します。記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額のみをまとめて記載するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

※ 資産や負債に関する事項は記載を要しません。

③ 帳簿等の保存

収入金額や必要経費を記載すべき帳簿書類のほか、取引に伴って作成したり受け取ったりした帳簿や請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

※ 現在、取引に伴って作成したり受け取ったりした帳簿書類の保存が必要となる方(所得税の確定申告書を提出した事業所得者の方など)は、これに加えて、収入金額や必要経費を記載した帳簿の保存も必要になります。

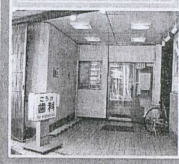
【帳簿書類の保存期間】

	保存が必要なもの	保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載すべき帳簿	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿	5年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

記帳制度の詳細は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)をご覧ください。

健康はお口から
地域の人々が健康で幸せになるために

「ごうけ歯科医院」郷家英二先生を訪ねて



今回の局長訪問日記は、少々敷居が高い歯医者さんを訪ねました。西武池袋線大泉学園駅南口から徒歩0分という地の利に「ごうけ歯科医院」があります。

実は、私がお世話になっている先生でしたので、心良くお引受け頂き予約時間を削ってまで取材に協力頂きました。感謝致します。

「ごうけ歯科医院」の看板はあららこちらで見かけますが、出身は宮城県仙台市、親戚中が歯科医ということでした。もちろんお父様も歯科医、兄弟皆歯科医という環境にあった次男の英二少年は、中学生の頃から人の為に尽くせる歯科医を目指したとのこと。

昭和55年日本大学歯学部卒業、その後大学院で歯周病学を学び

学位取得、大学の歯周病科助手を務め、昭和61年3月現在の所に「ごうけ歯科医院」を開業されました。

なぜ私が郷家先生を取材したかという、冷静沈着な先生という点もありますが、先生が珍しく「プロデンティス」という「虫歯や歯周病になりにくく、腸の働きを良くする」という、ロイテリ菌（天然乳酸菌）から出来ているサプリメント」のPRをなさったことからでした。

先生曰く、「患者さんが定期健診をしていても、虫歯や歯周病を再発する人がいるので、何か身体の中から予防できるものがないかと考えていたところ、友人の口比先生に薦められ家族やスタッフと

共に試したら、とても良い商品だと実感したので」とのこと。

私は、先生が営業されるのであれば、間違いないと思い、素直に買い求め、紙めてみたらこれがとても「朝起きた時の口の中のネバネバがなくなり、常に歯ブラシの後のスッキリした口の中という感じで、実は、自分の口臭は分からないのですが、



手前 郷家先生 後方左から菅藤さん、本橋さん、石川さん

身近な方でしたら、臭いが気にならなくなったのはビックリでした。それを先生に言うと、先生曰く、「口臭の原因の多くは虫歯や歯周病特に歯周病は自覚症状が少なく悪化しやすい病気で、口臭があればその原因を突き止めなければならぬ。相当ひどい口臭がある方は、歯医者さんでちゃんと見てもらわないとね。」と忠告を受けました。先生は、口臭予防になるのは接客業の私にはありがたいものです。

また、歯科医師という大変神経の使う仕事で、常に心掛けていることを聞いてきました。

先生の信条（三カ条）

一、常に患者さんには、100% 誠心誠意治療にあたること
二、歯だけでなく全身の病気を考えること
三、必ず六時間半は睡眠を取る

また、スタッフの教育は常に笑顔で接するようにと教育しているとのことでした。

確かに治療の前は、体調を聞いてくれるし、スタッフの皆さんとても感じがいいです。

口臭が気になるあなた！

かかりつけの歯医者さんに「相談ください」ね。

「虫歯にならない歯にするために日々努力」

「日比歯科医院」日比輝彦先生を訪ねて



今度は、郷家先生にご紹介頂いた日比先生を訪ねてみました。

西大泉四面塔稲荷の交差点近くの住宅街に日比歯科医院さんがありました。近所の方には、ハイカラな建物で有名なようでした。

確かに円筒形で素敵な建物でした。

日比先生は、岐阜県大垣市のご出身で、郷家先生と同じ日本大学歯学部卒業、卒業後は六年ほど勤務医で、昭和61年8月に開業されました。開業に至るまでは、常識ですが区役所に行つて乗降人数を調べ、とにかく市場調査をされ、その結果この西大泉に土地を購入して、建物を建てられた。ということでした。先生も勿論、気に入った建物とのことでした。



後方 日比先生 手前左から下平さん、清水さん、吉田さん

嬉しいお話は、遠方に引越された患者さんでも先生の所にはるる通って来てくださるとのことです。

その先生の姿勢を伺てきました。

患者さんは、どうしても虫歯になつてから来られる。それではいつまでも負のスパイラル。虫歯にならないようにするには？と常に考えていた時に、歯科の見本市で予防学の講演を聞きに行った時に、同じブリスにスウェーデン生まれのパイオガイヤ社取扱店で見かけたのが「プロデンティス」であった。

先生から「プロデンティスとは乳酸菌のサプリメントで体内には500兆個の細菌が住んでおり、ピトの体にとって菌は重要な働きをしています。善玉菌を増やして悪玉菌を抑えこむことによって免疫力も高め、健康維持に役立させることが目的の商品です。」とのことでした。

そして、常に情報交換している友人の郷家先生にも伝わったということでした。

日比先生は、患者さんの口の中の細菌を顕微鏡で検査、虫歯、歯周病の治療後、プロデンティスをお勧めしているとのこと。転居しても速くから来られるとい

うことが頷けました。

先生の信条（二カ条）

一、初めてきた子供さんには、歯医者嫌いにならないように心掛けている。

二、常に家族等大切な人を治療する気持ちで接している。

また、衛生士さんには、やさしく接するようにと教育しているとのことでした。

今回の取材で感じたことは、今まで病院という所は、病気になるから行く所と思っていました。ところが、先生方は、予防が重要と考えてくださっておられることを痛感しました。とてもありがたいお話でした。

予約時間、休憩時間を削いでご協力頂きました先生始めスタッフの皆さんに感謝申し上げます。

尚、医師の取材ということで表記についてのご指摘等がありましたら、高橋が承ります。

また、会員の皆さまの中で、是非ともお勧めしたいこと、目玉商品等ございましたら取材に伺いますので、ご遠慮なく事務局の高橋までお声を掛けてください。

それでは、次回をお楽しみに！

